



# 大野市教育委員会たより

令和元年8月28日発行 第16号

発行 大野市教育委員会教育総務課  
〒912-0086 大野市天神町 1-1  
電話 0779-64-4827 Fax0779-69-9110  
E-mail kyoikusomu@city.fukui-ono.lg.jp

近年、情報化やグローバル化といった社会的変化が、私たちの予測を超えて進展しているなど、学校を取り巻く環境が大きく変化しています。

そのような中、大野市教育委員会では、将来を担う子どもたち一人一人が自分に対する「自信」を持って楽しく学校に通い、学力等の充実を図ることができるようにするために、より良い教育環境について、皆さまと一緒に考えていきたいと思っております。ご理解とご協力をお願いいたします。

つきましては、先般、開催いたしました「教育環境に関する意見交換会」の結果概要について、お知らせします。

開催日：8月22日（木）午後7時～8時20分 次第 ・1部 子育て講演（講師：久保教育長）  
場 所：亀山保育園 ・2部 意見交換  
対象者：亀山保育園保護者（16人）・保育士（14人）

※以下は、「2部 意見交換」で保護者の皆さまと意見交換させていただいた『主な内容』です。

※保護者からの意見を◎、教育委員会の意見を■で表示しています。

◎再編後の学校を建てる場所は決まっているのか。

⇒ ■決まっていない。中学校1校、小学校2校とする再編計画の時も、建てる場所は決まっていなかった。再編計画の見直しでは、現在の校舎を利用していくことも含まれている。現時点では、どの小中学校を残すかなどは決まっていない。

◎再編計画自体が白紙になることはないのか。

⇒ ■教育委員会では、学校の再編は必要であると考えている。複式学級を保有している学校の児童数が非常に少ない、また中学校では部活の選択肢が少なくなり、生徒が選べないなどの状況となっている。子どもの教育環境をある程度、整えていかなければならないと考えている。

⇒ ◎部活が少ないから嫌だとか、複式学級だから嫌だとかを子ども自身が思っていることなのか。大人が可哀想だと思っているのか。

⇒ ■意見交換会と並行して、小学校6年生と中学校2年生にアンケートを行い、子どもたちの考えを聞いているところである。

◎小中学校は、今のままの状態では駄目なのか。

⇒ ■市の人口が毎年500人ずつ減っていて、子どもも毎年5人ずつぐらい出生数が減っている。長い期間で見た場合を考えると、教育委員会としては、現状のままでは駄目であると考えている。子どもたちが社会に出てたくましく育っていける教育環境を今のうちから考えていく必要がある。

◎中学校1校、小学校2校になると範囲が広くなり、学校まで歩いていけない距離の子どもが増える。スクールバスで行くのか、保護者が送迎することになるのか。

⇒ ■再編により通学距離が長くなる子どもに対しては、スクールバスを用意することを考えている。再編計画では、スクールバスの通学時間を30分以内と考えていた。スクールバスのルートについては、それぞれの家を回ることは無理であるが、集落の出口付近などをバス停としたいと考えている。運行は、登校1便、下校2便が想定される。

⇒ ◎スクールバスは何台も出すのか。

⇒ ■再編の規模にもよるが、1校で何台も出すことになると思う。

◎学校は地域コミュニティの拠点の役目を果たしているため、高齢者から学校再編に対して、かなりの反対がある。どのように対応していくのか。また、学校は防災拠点などの役割を果たしているが、学校の地域の中での役割をどう考えているか。

⇒ ■学校が地域の活性化の役目を果たしていると思う。すでに開催した意見交換会で、再編を行った六呂師地区の方などからは、学校がなくなったことで、地区の運動会などがなくなるなど地区の集まりが減ったとか、子どもが少し遠くなったと聞いている。しかし、再編で学校がなくなった場合、学校に代わる地域を活性化させる拠点、



例えば公民館の活用など、違う方策を考えていく必要がある。まずは、子どもたちの教育環境を整えていかなければならないと考えている。防災については、現在、小中学校は避難施設に指定されており、市の防災関係部署と調整しながら再編を検討していきたい。

◎ある程度人数のいる下庄小と児童が20人いない乾側小では学校再編の必要性が違う。人数の少ない学校から段階的に再編していくことが難しいのであれば、校区にしばられない、住所を変えなくても保護者の希望で行きたい学校へ行くような制度も考えてほしい。

◎再編になった場合、制服やランドセル、体操服はどうなるのか。

⇒ ■再編を行うと決まった時は、準備期間を最低1年は必ず設ける。その期間に、保護者だけでなく地域の方々も含めながら、学校に關係することを相談しながら決めていくこととなる。再編の対象となる子どもたちそれぞれが不利にならないようにしていきたい。

◎中学校では、夏休みにスクールバスは出ないのか？夏休みにも部活の朝練などがあると思う。

⇒ ■夏休みでも部活のためにスクールバスを運行している。小学校でも夏休みのプール開放日のためにスクールバスを運行している。

⇒ ◎再編でスクールバス通学になった場合、朝練があるとスクールバスの時間帯が合わないため、保護者が送迎しないといけなくなると思うが。

⇒ ■現在は、教員の働き方改革や子どもの体力的な部分を考慮し、朝練は原則しないこととしている。

◎再編計画の中学校1校、小学校2校とする場合、1校の人数はどれぐらいか。

⇒ ■再編計画時の想定では、中学校1校で688人、1学年当たり7～8クラス、1クラス25～30人としていた。小学校は2校であるが、1校で500～600人、1学年3クラス、1クラス25～30人としていた。

⇒ ◎数字を聞いて、1校の人数が多いと感じた。小学校は4校ぐらいが良いと思う。中学校は子どものことを考えると2校あっても良いと感じる。再編の校数は変わる可能性はあるのか。

⇒ ■現在、再編の校数も含めて見直しに取り組んでおり、変わる可能性はある。

◎意見交換会に来ていない保護者に対して、アンケートなどをして意見集約をしないのか。

⇒ ■現在、意見交換会を小中学校、保育所・認定こども園、各地区で行い、同時にアンケートをとっており、他に小学校6年生・中学校2年生へのアンケート、5月12日に実施した教育シンポジウムでのアンケートを行い、これらすべてをとりまとめて集計する予定である。意見交換会に参加できなかった方々で再度、意見交換会の開催の要望があれば対応させていただきたい。

◎校区の見直しは考えていないのか。

⇒ ■再編が行われることになれば、その時点で校区の見直しとなる。校区だけの見直しは再編より難しい状況と考えている。今までの再編は地域に1つずつ学校が残ったため、ある程度スムーズに進んだ。これからの再編は地域をまたぐ再編となり、質が違う。

◎再編を行い、いろいろな子どもたちと触れ合ったり、いろいろな先生と出会ったりして、子どもたちは学ぶことが多いと思うし、部活面でも良いことがあると思うが、中学校1校、小学校2校は少なすぎる。中学校1校だと、小学校でうまくいかなかった場合、中学校でも同メンバーとなり、逃げ道がなくなる。再編を行い、生徒の人数が増えた場合、教員の数はどうなるのか。

⇒ ■教員の数は、基本はクラス数分、配置され、クラス数が多いと追加される。国の定数は1クラス40人であるが、福井県は独自定数で1クラスの人数が少ない。1学年1クラスになると、いじめなどがあるとクラス替えができない難しさがある。2クラス以上あれば、子どもにとって良い環境を整えることが出来る。

◎再編されると児童館も1つになるのか。

⇒ ■市では公共施設再編計画を定めているが、その計画では児童館を再編する予定は現在はない。村部では、放課後こども教室の体制を継続しながら、子どもを見ていくこととしている。



お仕事等で忙しい中、ご出席いただきました保護者の皆さま、ありがとうございます。紙面の関係上、割愛している部分がございます。ご了承をお願いします。本日より、大野市ホームページにも掲載を予定しています。

